

施設設置と食料安定供給の確保又は石巻市の農業の復興との関係に係る資料

資料2



- 石巻圏域では、ほ場整備における換地の手法を活用し、用地を創設してカントリーエレベーター(※)が3カ所整備されている。同施設は、安全・安心で品質の高い米の供給に寄与している。※穀物の貯蔵施設で、乾燥施設及び調製施設から構成される。
- しかしながら、いずれも稼働率は100%を超えており、石巻圏域において北上川流域の収穫物を一括して乾燥・調製できる余力を有する施設がない。
- カントリーエレベーターは、一括乾燥・調製することで地元農業者の営農効率を上昇させ、地元農業者が農地集積を図るインセンティブを付与し、さらには一括乾燥・調製による品質向上など相乗的な効果が期待される。
- カントリーエレベーター整備と併せて、農業関連復旧事業と併せて被災前に施工中であったほ場整備を継続し、北上川流域農地の大区画化・農地利用集積を図る。(図中において、①は平成22年度末の事業費ベース進捗率、②は目標農地集積率)



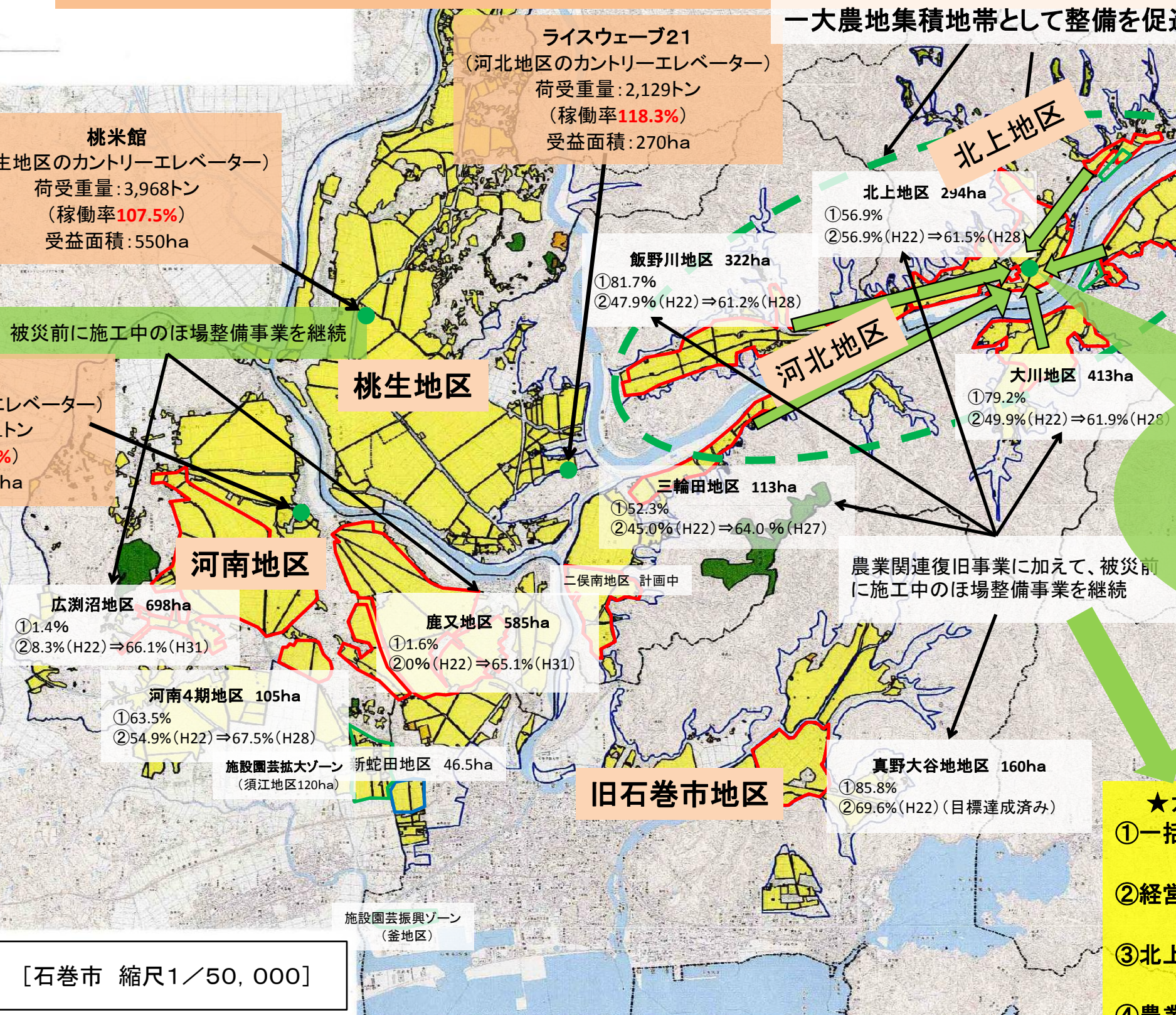
桃米館
(桃生地区のカントリーエレベーター)
荷受重量:3,968トン
(稼働率**107.5%**)
受益面積:550ha



こめっ娘
(河南地区のカントリーエレベーター)
荷受重量:3,301トン
(稼働率**109.5%**)
受益面積:450ha

凡 例	
	市町村界・旧市町村界
	農業振興地域
	農用地
	採草放牧地
	農業用施設
	ほ場整備区域

[石巻市 縮尺1/50,000]



一大農地集積地帯として整備を促進



北上地区及び河北地区を受益対象とする 乾燥調製貯蔵施設(カントリーエレベーター)の整備

(*)両地区約1,000haの農地のうち50%の受益面積を想定し、受益面積500haのキャパシティ(農用地域内農地約1ha)

- ★カントリーエレベーター整備による効果★
- ①一括乾燥・調製による地元農業者の経営効率化
 - ②経営コスト削減による農地利用集積の促進
 - ③北上川流域産で生産された米の食味の向上
 - ④農業再生・振興による北上地区の地域活性化